旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容
電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月 首都高速道路株式会社	電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月 首都高速道路株式会社	変更

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容
		変更

付属資料 9 単価工事のしゅん功図の扱い 115
付属資料 10 電子納品の利活用手続きについて 119
付属資料 11 電子納品チェックシステムの検査結果リスト 123
付属資料 12 しゅん功検査後から成果品(電子媒体)保管までの流れ 125
付属資料 13 「適用要領基準」項目に記入する内容 126
付属資料 14 一部しゅん功におけるしゅん功図書等の取扱い 129
付属資料 15 図面タイトル版（工事の各図面）の記入方法 136

※付属資料 4 は欠番

改訂履歴

マニュアル改訂年度	主な改訂
平成 16.6	初版
平成 17.10	運用手順、各職種 フォルダ構成
平成 18.8	機械（工事、設計、CAD）
平成 20.4	土木（工事、設計、地質、測量、写真、CAD）
平成 23.3	用地測量調査業務を電子納品の対象から除外
(平成 29.7)	(マイクロフィルムの廃止)
(平成 30.7)	(写真電子化(検査時)の明示)
2020.11	名称の変更 電子成果品のメンティスデータルームへの持ち込みによるチェックの廃止
2025.4	BIM/CIM 成果品マニュアルとの整合 記述の整理・修正

※「適用要領基準」項目に記入する内容は、付属資料 13 参照

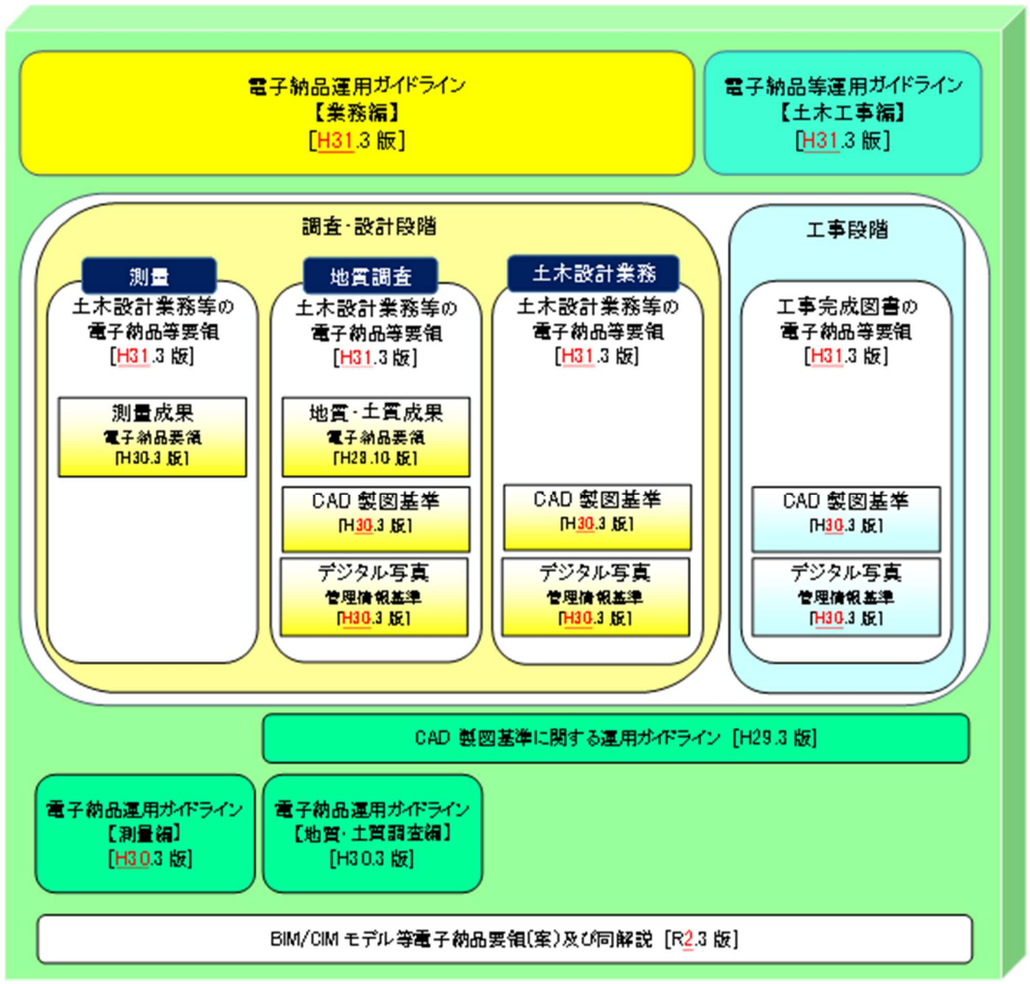
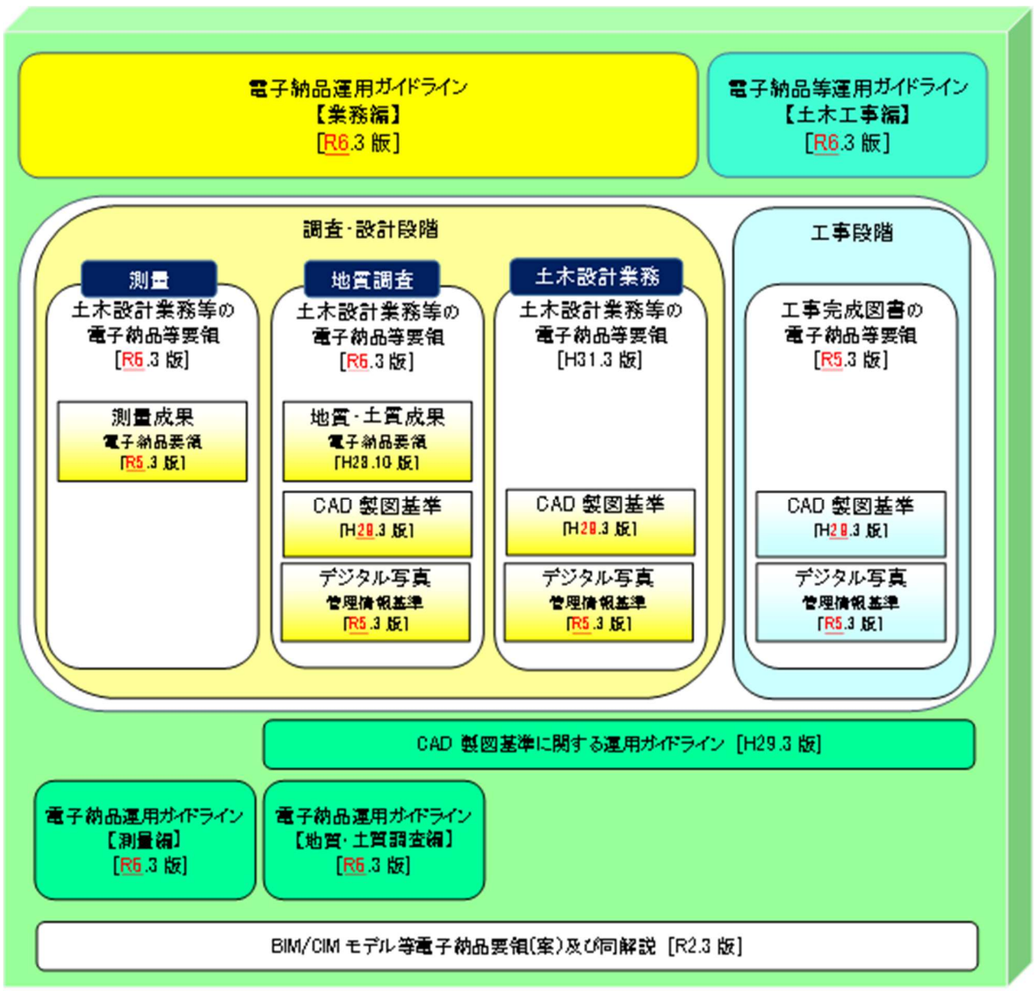
付属資料 9 単価工事のしゅん功図の扱い 114
付属資料 10 電子納品の利活用手続きについて 118
付属資料 11 電子納品チェックシステムの検査結果リスト 122
付属資料 12 しゅん功検査後から成果品(電子媒体)保管までの流れ 124
付属資料 13 「適用要領基準」項目に記入する内容 125
付属資料 14 一部しゅん功におけるしゅん功図書等の取扱い 128
付属資料 15 図面タイトル版（工事の各図面）の記入方法 135

※付属資料 4 は欠番

改訂履歴

マニュアル改訂年度	主な改訂
平成 16.6	初版
平成 17.10	運用手順、各職種フォルダ構成
平成 18.8	機械（工事、設計、CAD）
平成 20.4	土木（工事、設計、地質、測量、写真、CAD）
平成 23.3	用地測量調査業務を電子納品の対象から除外
(平成 29.7)	(マイクロフィルムの廃止)
(平成 30.7)	(写真電子化(検査時)の明示)
2020.11	名称の変更 電子成果品のメンティスデータルームへの持ち込みによるチェックの廃止
2025.4	BIM/CIM 成果品マニュアルとの整合 記述の整理・修正
2026.5	適用要領基準の年版更新

※「適用要領基準」項目に記入する内容は、付属資料 13 参照

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容
 図 1-1　国土交通省のガイドライン等の相互関係（土木分野）[2020 年 11 月現在]	 図 1-1　国土交通省のガイドライン等の相互関係（土木分野）[2025 年 11 月現在]	変更

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容
		変更

表 1-1　適用する国土交通省のガイドライン等の名称・策定年月の一覧

要領等名称［策定年月］	
土木設計業務等の電子納品要領	[H31.3]
工事完成図書の電子納品等要領	[H31.3]
CAD 製図基準	[H29.3]
地質・土質調査成果電子納品要領	[H28.10]
デジタル写真管理情報基準	[H28.3]
測量成果電子納品要領	[H30.3]
土木設計業務等の電子納品要領　電気通信設備編	[H31.3]
工事完成図書の電子納品等要領　電気通信設備編	[H31.3]
CAD 製図基準　電気通信設備編	[H29.3]
工事完成図書の電子納品要領　機械設備工事編	[H31.3]
工事完成図書の電子納品要領　機械設備工事編	[H31.3]
CAD 製図基準　機械設備工事編	[H29.3]
電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード	[H31.3]
建築設計業務等電子納品要領	[H30 年度版]
営繕工事電子納品要領	[H30 年度版]
電子納品運用ガイドライン【業務編】	[H31.3]
電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】	[H31.3]
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン	[H29.3]
道路中心線形データ交換標準に係わる電子納品運用ガイドライン	[H28.3]
土木工事の情報共有システム活用ガイドライン	[H31.3]
電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備業務編】	[H31.3]
電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備工事編】	[H31.3]
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン 電気通信設備編	[H29.3]
電子納品等運用ガイドライン 機械設備工事編【業務】	[H31.3]
電子納品等運用ガイドライン 機械設備工事編【工事】	[H31.3]
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン 機械設備工事編	[H29.3]
機械設備保守点検業務の電子納品運用ガイドライン	[H31.3]
電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】	[H30.3]
電子納品運用ガイドライン【測量編】	[H30.3]
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕業務編】	[H30 年度版]
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】	[H30 年度版]
BIM/CIM モデル等電子納品要領(案) 及び同解説	[R2.3]

上記の国土交通省のガイドライン等やチェックシステムは、次のホームページから入手することができる。（国土交通省 国土技術政策総合研究所 電子納品に関する要領・基準ホームページ：http://www.cals-ed.go.jp/）

なお、上記の策定年月は本マニュアル改訂時点のチェックシステムで対応している年版を示す。

表 1-1　適用する国土交通省のガイドライン等の名称・策定年月の一覧

要領等名称［策定年月］	
土木設計業務等の電子納品要領	[R6.3]
工事完成図書の電子納品等要領	[R5.3]
CAD 製図基準	[H29.3]
地質・土質調査成果電子納品要領	[H28.10]
デジタル写真管理情報基準	[R5.3]
測量成果電子納品要領	[R5.3]
土木設計業務等の電子納品要領　電気通信設備編	[R6.3]
工事完成図書の電子納品等要領　電気通信設備編	[R5.3]
CAD 製図基準　電気通信設備編	[H29.3]
土木設計業務等の電子納品要領　機械設備工事編	[R6.3]
工事完成図書の電子納品等要領　機械設備工事編	[R5.3]
CAD 製図基準　機械設備工事編	[H29.3]
電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード	[H31.3]
建築設計業務等電子納品要領	[R2 年度版]
営繕工事電子納品要領	[R2 年度版]
電子納品運用ガイドライン【業務編】	[R6.3]
電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】	[R6.3]
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン	[H29.3]
道路中心線形データ交換標準に係わる電子納品運用ガイドライン	[H28.3]
土木工事の情報共有システム活用ガイドライン	[H31.3]
電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備業務編】	[R6.3]
電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備工事編】	[R6.3]
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン 電気通信設備編	[H29.3]
電子納品等運用ガイドライン 機械設備工事編【業務】	[R6.3]
電子納品等運用ガイドライン 機械設備工事編【工事】	[R6.3]
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン 機械設備工事編	[H29.3]
機械設備保守点検業務の電子納品運用ガイドライン	[H31.3]
電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】	[R6.3]
電子納品運用ガイドライン【測量編】	[R7.12]
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕業務編】	[R4 年改定]
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】	[R4 年改定]
BIM/CIM モデル等電子納品要領(案) 及び同解説	[R2.3]

上記の国土交通省のガイドライン等やチェックシステムは、次のホームページから入手することができる。（国土交通省 国土技術政策総合研究所 電子納品に関する要領・基準ホームページ：http://www.cals-ed.go.jp/）

なお、上記の策定年月は本マニュアル改訂時点のチェックシステムで対応している年版を示す。

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容
3-2 電子成果品作成 電子成果品の作成に関する留意点は、以下のとおりである。 3-2-1　電子媒体 原本性確保の観点から、電子納品の媒体を CD-R、DVD-R、もしくは BD-R とする。 CD-R のフォーマット形式は Joliet、DVD-R のフォーマット形式は UDF（UDF Bridge）、BD-R のフォーマット形式は UDF2.6 とする。（以下、「CD-R」、「DVD-R」及び「BD-R」は「電子媒体」という） なお、データ容量等により上述の電子媒体及びフォーマットでの納品が困難な場合は、監督職員と協議されたい。 3-2-2　電子媒体のラベル 電子媒体のラベル面に記載する項目を次に示す。またラベルの例を図 3-1 に示す。なお、ラベル面には、必要項目を表面に直接印刷、又は油性フェルトペンで表記し、表面に損傷を与えないように留意すること。 ア)「整理番号」　当社独自に発行する「しゅん功図書整理番号」 イ)「業務名称」　契約書に記載されている正式名称を記載 ウ)「(正）もしくは（副)」　（正）もしくは（副）の区別を記載 エ)「工期」　業務の工期を記載(西暦) オ)「発注者名」　発注者の正式名称を記載 カ)「受注者名」　受注者の正式名称を記載 （特定建設共同企業体の場合、企業名+JV とすること） キ)「何枚目/全体枚数」　全体枚数の何枚目であるかを記載 ク)「ウイルスチェックに関する情報」 a) ウイルスチェックソフト名 b) ウイルス定義年月日又はパターンファイル名 c) ウイルスチェックソフトによるチェックを行った年月日(西暦) ケ)「フォーマット形式」　CD-R の場合は、フォーマット形 Joliet を明記 DVD-R の場合は UDF（UDF Bridge）、BD-R の場合は UDF 2.6 を明記 コ)「発注者署名欄」主任監督員が署名 サ)「受注者署名欄」管理技術者または現場代理人が署名	3-2 電子成果品作成 電子成果品の作成に関する留意点は、以下のとおりである。 3-2-1　電子媒体 首都高への電子成果品は、原則として電子媒体に格納し納品する。原本性確保の観点から、電子納品の媒体を CD-R、DVD-R、もしくは BD-R とする。 CD-R のフォーマット形式は Joliet、DVD-R のフォーマット形式は UDF（UDF Bridge）、BD-R のフォーマット形式は UDF2.6 とする。（以下、「CD-R」、「DVD-R」及び「BD-R」は「電子媒体」という） なお、データ容量等により上述の電子媒体及びフォーマットでの納品が困難な場合は、監督職員と協議されたい。 3-2-2　電子媒体のラベル 電子媒体のラベル面に記載する項目を次に示す。またラベルの例を図 3-1 に示す。なお、ラベル面には、必要項目を表面に直接印刷、又は油性フェルトペンで表記し、表面に損傷を与えないように留意すること。 ア)「整理番号」　当社独自に発行する「しゅん功図書整理番号」 イ)「業務名称」　契約書に記載されている正式名称を記載 ウ)「(正）もしくは（副)」　（正）もしくは（副）の区別を記載 エ)「工期」　業務の工期を記載(西暦) オ)「発注者名」　発注者の正式名称を記載 カ)「受注者名」　受注者の正式名称を記載 （特定建設共同企業体の場合、企業名+JV とすること） キ)「何枚目/全体枚数」　全体枚数の何枚目であるかを記載 ク)「ウイルスチェックに関する情報」 a) ウイルスチェックソフト名 b) ウイルス定義年月日又はパターンファイル名 c) ウイルスチェックソフトによるチェックを行った年月日(西暦) ケ)「フォーマット形式」　CD-R の場合は、フォーマット形 Joliet を明記 DVD-R の場合は UDF（UDF Bridge）、BD-R の場合は UDF 2.6 を明記 コ)「発注者署名欄」主任監督員が署名 サ)「受注者署名欄」管理技術者または現場代理人が署名	変更

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容
		変更

4-1-3　調査・設計等業務種別と適用要領等

各分野において、以下の要領等を適用する。

表 4-4　調査・設計等業務の各種別で対象とする国土交通省のガイドライン等

種　別	適用する要領等
土木調査設計業務	・土木設計業務等の電子納品要領 [H31.3] ・CAD 製図基準 [H29.3] ・地質・土質調査成果電子納品要領 [H28.10] ・デジタル写真管理情報基準 [H28.3] ・測量成果電子納品要領 [H30.3]
電気通信設備設計業務	・土木設計業務等の電子納品要領　電気通信設備編 [H31.3] ・CAD 製図基準電気通信設備編 [H29.3]
機械設備工事設計業務	・土木設計業務等の電子納品要領　機械設備工事編 [H31.3] ・CAD 製図基準機械設備工事編 [H29.3]
建築設計業務	・建築設計業務等電子納品要領 [H30 年度版]

4-2　フォルダ構成

フォルダ構成は、適用する要領等に準拠する。

4-1-3　調査・設計等業務種別と適用要領等

各分野において、以下の要領等を適用する。

表 4-4　調査・設計等業務の各種別で対象とする国土交通省のガイドライン等

種　別	適用する要領等
土木調査設計業務	・土木設計業務等の電子納品要領 [R6.3] ・CAD 製図基準 [H29.3] ・地質・土質調査成果電子納品要領 [H28.10] ・デジタル写真管理情報基準 [R5.3] ・測量成果電子納品要領 [R6.3]
電気通信設備設計業務	・土木設計業務等の電子納品要領　電気通信設備編 [R6.3] ・CAD 製図基準電気通信設備編 [H29.3]
機械設備工事設計業務	・土木設計業務等の電子納品要領　機械設備工事編 [R6.3] ・CAD 製図基準機械設備工事編 [H29.3]
建築設計業務	・建築設計業務等電子納品要領 [R2 年度版]

4-2　フォルダ構成

フォルダ構成は、適用する要領等に準拠する。

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容
		変更

4-3 成果品の管理項目

4-3-1　業務管理項目

管理項目とは、要領等で規定されている「業務管理項目」、「工事管理項目」等のことで、電子成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するための情報である。基本的には、適用する要領等に準拠する。首都高用に読み替えを行う項目を表 4-5 及び表 4-6 **エラー! 参照元が見つかりません。** に示す。

なお、[データ表現]・[文字数]・[記入者]・[必要度]は、国土交通省の規定と同様とする。

(1)　土木・電気通信設備・機械設備における業務管理項目の読み替え

表 4-5　首都高と国土交通省の業務管理項目比較表（土木・電気通信設備・機械設備）

カテゴリー		首都高速道路株式会社	（参考）国土交通省				
		記入内容	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した首都高のマニュアルの版(「土木 201903-01」で固定)を記入する。(分野：土木、西暦年：2019、月：03、版：01) ※分野は首都高の後に「職種」を付け加える（土木、電気、機械）	電子成果品の作成で適用した国土交通省のガイドライン等の版(「土木 201903-01」で固定)を記入する。（分野：土木、西暦年：2019、月：03、版：01）	全角文字 半角英数字	30	▲	◎
業務件名等	設計書コード	首都高における「しゅん功図書整理番号」を記入する。 ＜整理番号の例＞ SD04BB1005 ※しゅん功図書整理番号はS・D04・BB1005であるが、「・」を省いて半角英数字（10 桁）で記入する。 ※しゅん功図書整理番号は、採番システムにより発番する。詳細は付属資料 8 によること。	各発注者機関で業務 1 件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。	半角英数字	30	■	◎
場所情報(複数記入可能)	対象水系路線コード	採番システムにより発番する「路線分類」を記入する。	水系・路線コードを TECRIS の表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。	半角数字	5	■	○

4-3　成果品の管理項目

4-3-1　業務管理項目

管理項目とは、要領等で規定されている「業務管理項目」、「工事管理項目」等のことで、電子成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するための情報である。基本的には、適用する要領等に準拠する。首都高用に読み替えを行う項目を表 4-5 及び表 4-6 **エラー! 参照元が見つかりません。** に示す。

なお、[データ表現]・[文字数]・[記入者]・[必要度]は、国土交通省の規定と同様とする。

(1)　土木・電気通信設備・機械設備における業務管理項目の読み替え

表 4-5　首都高と国土交通省の業務管理項目比較表（土木・電気通信設備・機械設備）

カテゴリー		首都高速道路株式会社	（参考）国土交通省				
		記入内容	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した首都高のマニュアルの版(「土木 202403-01」で固定)を記入する。(分野：土木、西暦年：2024、月：03、版：01)	電子成果品の作成で適用した国土交通省のガイドライン等の版(「土木 202403-01」で固定)を記入する。（分野：土木、西暦年：2024、月：03、版：01）	全角文字 半角英数字	30	▲	◎
業務件名等	設計書コード	首都高における「しゅん功図書整理番号」を記入する。 ＜整理番号の例＞ SD04BB1005 ※しゅん功図書整理番号はS・D04・BB1005であるが、「・」を省いて半角英数字（10 桁）で記入する。 ※しゅん功図書整理番号は、採番システムにより発番する。詳細は付属資料 8 によること。	各発注者機関で業務 1 件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。	半角英数字	30	■	◎
場所情報(複数記入可能)	対象水系路線コード	採番システムにより発番する「路線分類」を記入する。	水系・路線コードを TECRIS の表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。	半角数字	5	■	○

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月

5-1-2　電子納品対象書類

電子納品対象書類とそれらのファイル形式を表 5-2 **エラー! 参照元が見つかりません。**に示す。

なお、塗装、伸縮継手、排水施設、区画線等の補修工事で構造変更を伴わない場合は、しゅん功図書を納品しなくても良い。

しゅん功図のファイル形式は、SXF（P21 または SFC）形式(CAD ファイル)とオリジナル（DWG、JWW 等）、PDF 形式による納品を原則とする。ただし、SXF（P21 または SFC）形式による納品ができない場合は、SXF（P21 または SFC）形式の代わりに TIFF 形式(イメージファイル)により納品しても良い。

単価・簡易工事は、主任監督員が必要とみなした場合のみ電子納品の対象とする。また、電子納品の対象としない場合でも、「管理カード」は、従来どおり「保全情報管理システム管理カード作成要領」に従って作成し、納品する。

なお、工事における電子納品対象書類に含まれない、その他の資料を付属資料 2 に示す。

表 5-2　工事における電子納品対象書類一覧

書類リスト	ファイル形式	提出部数	格納フォルダ等
しゅん功図*1*2*3	SXF（P21 または SFC）または TIFF	3	DRAWINGF [K_DRAW-D_DRAWF] *6
	オリジナル（DWG、JWW 等）		DRAWINGF-ORG
	PDF *4		OTHRS-ORG004
	A3 判縮刷版製本集*5	1	－
品質管理データ	PDF	3	MEET-ORG
工事打合せ簿*7	PDF	3	MEET-ORG
施工計画書、作業計画書	PDF	3	PLAN
設計概要書、設計計算書、計算書等照査報告書・確認書	オリジナル*8*9 と PDF	3	OTHRS-ORG001
	A4 紙	1	－
数量計算書	オリジナル*8 と PDF	3	OTHRS-ORG002
	A4 紙	1	－
管理カード*10	オリジナル	3	OTHRS-ORG003
図面管理ファイル（Excel）*11	オリジナル	3	OTHRS-ORG004
技術管理データ	オリジナル*8	3	OTHRS-ORG005
契約関係書類	PDF	3	OTHRS-ORG006
工事写真	JPEG	3	PHOTO-PIC
i-Construction データ	（別で定めるガイドライン等による）	3	ICON
BIM/CIM データ		3	BIMCIM

【 解説 】
*1）しゅん功図書、またはその被写資料のうち図面をいう（2-1 しゅん功図書の定義 参照）
*2）出来形図表は、しゅん功図に入れる
*3）残置する仮設物及び地下埋設物等は、参考図としてしゅん功図に入れる
*4）サイズ：A3、解像度(スキャナで読み込む場合)：300dpi
*5）「国等に基づく環境物品等調達の推進等に関する法律」（通称：グリーン法）に対応した用紙を使用すること
*6）機械設備編におけるしゅん功図の格納フォルダ
*7）詳細設計付き工事の場合の設計打合せ簿も含む
*8）オリジナルデータの納品が困難な場合、PDF でも可能
*9）電算アウトプットを除く
*10）管理カードの作成は、保全情報管理システム管理カード作成要領による
*11）iDREAMs からダウンロード
*12）成果品の合冊や分割等の必要がある場合は、主任監督員の指示によること
※成果品内のフォルダ名やファイル名、各種管理ファイル(.XML)内には「¥ / ： , ； * ？ ” 〈 〉 |」を使用しないこと
（例.　×「BIM_/_CIM」→ ○「BIMCIM」）

新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月

5-1-2　電子納品対象書類

電子納品対象書類とそれらのファイル形式を表 5-2 **エラー! 参照元が見つかりません。**に示す。

なお、塗装、伸縮継手、排水施設、区画線等の補修工事で構造変更を伴わない場合は、しゅん功図書を納品しなくても良い。

しゅん功図のファイル形式は、SXF（P21 または SFC）形式(CAD ファイル)とオリジナル（DWG、JWW 等）、PDF 形式による納品を原則とする。ただし、SXF（P21 または SFC）形式による納品ができない場合は、SXF（P21 または SFC）形式の代わりに TIFF 形式(イメージファイル)により納品しても良い。

単価・簡易工事は、主任監督員が必要とみなした場合のみ電子納品の対象とする。また、電子納品の対象としない場合でも、「管理カード」は、従来どおり「保全情報管理システム管理カード作成仕様書」に従って作成し、納品する。

なお、工事における電子納品対象書類に含まれない、その他の資料を付属資料 2 に示す。

表 5-2　工事における電子納品対象書類一覧

書類リスト	ファイル形式	提出部数	格納フォルダ等
しゅん功図*1*2*3	SXF（P21 または SFC）または TIFF	3	DRAWINGF [K_DRAW-D_DRAWF] *6
	オリジナル（DWG、JWW 等）		DRAWINGF-ORG
	PDF *4		OTHRS-ORG004
	A3 判縮刷版製本集*5	1	－
品質管理データ	PDF	3	MEET-ORG
工事打合せ簿*7	PDF	3	MEET-ORG
施工計画書、作業計画書	PDF	3	PLAN
設計概要書、設計計算書、計算書等照査報告書・確認書	オリジナル*8*9 と PDF	3	OTHRS-ORG001
	A4 紙	1	－
数量計算書	オリジナル*8 と PDF	3	OTHRS-ORG002
	A4 紙	1	－
管理カード*10	オリジナル	3	OTHRS-ORG003
図面管理ファイル（Excel）*11	オリジナル	3	OTHRS-ORG004
技術管理データ	オリジナル*8	3	OTHRS-ORG005
契約関係書類	PDF	3	OTHRS-ORG006
工事写真	JPEG	3	PHOTO-PIC
i-Construction データ	（別で定めるガイドライン等による）	3	ICON
BIM/CIM データ		3	BIMCIM

【 解説 】
*1）しゅん功図書、またはその被写資料のうち図面をいう（2-1 しゅん功図書の定義 参照）
*2）出来形図表は、しゅん功図に入れる
*3）残置する仮設物及び地下埋設物等は、参考図としてしゅん功図に入れる
*4）サイズ：A3、解像度(スキャナで読み込む場合)：300dpi
*5）「国等に基づく環境物品等調達の推進等に関する法律」（通称：グリーン法）に対応した用紙を使用すること
*6）機械設備編におけるしゅん功図の格納フォルダ
*7）詳細設計付き工事の場合の設計打合せ簿も含む
*8）オリジナルデータの納品が困難な場合、PDF でも可能
*9）電算アウトプットを除く
*10）管理カードの作成は、保全情報管理システム管理カード作成仕様書による
*11）監督職員から受領すること
*12）成果品の合冊や分割等の必要がある場合は、主任監督員の指示によること
※成果品内のフォルダ名やファイル名、各種管理ファイル(.XML)内には「¥ / ： , ； * ？ ” 〈 〉 |」を使用しないこと
（例.　×「BIM_/_CIM」→ ○「BIMCIM」）

改訂内容

変更

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容

5-1-3　種別と適用要領等

各分野において、以下の工事種別の要領等を適用する。

表 5-6　工事の各種別で対象とする適用要領等

種　　別	適用する要領等	
土木工事	・工事完成図書の電子納品要領 ・CAD 製図基準 ・地質・土質調査成果電子納品要領 ・デジタル写真管理情報基準 ・測量成果電子納品要領	[H31.3] [H29.3] [H28.10] [H28.3] [H30.3]
電気通信設備工事	・工事完成図書の電子納品要領　電気通信設備編 ・CAD 製図基準　電気通信設備編	[H31.3] [H29.3]
機械設備工事	・工事完成図書の電子納品要領　機械設備工事編 ・CAD 製図基準　機械設備工事編	[H31.3] [H31.3]
建築(営繕)工事	・営繕工事電子納品要領	[H30 年度版]

5-1-3　　工事種別と適用要領等

各分野において、以下の工事種別の要領等を適用する。

表　5-6　工事の各種別で対象とする適用要領等

種　　別	適用する要領等	
土木工事	・工事完成図書の電子納品要領 ・CAD 製図基準 ・地質・土質調査成果電子納品要領 ・デジタル写真管理情報基準 ・測量成果電子納品要領	[R5.3] [H29.3] [H28.10] [R5.3] [R6.3]
電気通信設備工事	・工事完成図書の電子納品要領　電気通信設備編 ・CAD 製図基準　電気通信設備編	[R5.3] [H29.3]
機械設備工事	・工事完成図書の電子納品要領　機械設備工事編 ・CAD 製図基準　機械設備工事編	[R5.3] [H31.3]
建築(営繕)工事	・営繕工事電子納品要領	[R2 年度版]

変更

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月

図 5-1　データ格納イメージ(工事完成図書の電子納品要領を適用した場合)

新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月

図 5-1　データ格納イメージ(工事完成図書の電子納品要領を適用した場合)

改訂内容

変更

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月

5-3　成果品の管理項目

5-3-1　工事管理項目

基本的には、適用する国土交通省のガイドライン等に準拠する。首都高用に読み替えを行う項目を表 5-7 表に示す。

なお、[データ表現]・[文字数]・[記入者]・[必要度]は、国土交通省の規定と同様とする。また、発注者コードは国土交通省 HP(http://www.cals-ed.go.jp/corins/)を参考に記入すること。

(1)　土木・電気通信設備・建築における工事管理項目の読み替え

表 5-7　首都高と国土交通省の工事管理項目比較表(土木・電気通信設備・建築)

カテゴリー		首都高速道路株式会社	(参考) 国土交通省				
		記入内容	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した首都高のマニュアルの版(「土木 201903-01」で固定)を記入する。(分野：土木、西暦年：2019、月：03、版：01) ※分野は首都高の後に「職種」を付け加える（土木、電気） ※　建築は項目がないため記入の必要はない。	電子成果品の作成で適用した国土交通省のガイドライン等の版(「土木 201903-01」で固定)を記入する。　(分野：土木、西暦年：2019、月：03、版：01) ※　建築は項目がないため記入の必要はない。	全角文字 半角英数字	30	▲	◎
工事件名等	工事番号	首都高における「しゅん功図書整理番号」を記入する。 ＜整理番号の例＞ KCOJ041011 ※しゅん功図書整理番号はK･COJ･041011 であるが、「･」を省いて半角英数字(10 桁)で入力する。 ※しゅん功図書整理番号は、採番システムにより発番する。詳細は付属資料 8 によること。	地方整備局単位で設定している CCMS 設計書番号（数字 8 桁～16 桁）を記入する。 [発注者が定める工事番号を記入する。] ＊1	半角 英数字	127	□	◎
場所情報	起点側測点-n	下り車線の中央分離帯側の測点 （自）n+m の n を 4 桁で記入する。	(自)n＋m n を 4 桁で記入する。	半角 数字	4	□	○
	起点側測点-m	下り車線の中央分離帯側の測点 （自）n+m の m を 3 桁で記入する。	(自)n＋m m を 3 桁で記入する。	半角 数字	3	□	○

新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月

5-3　成果品の管理項目

5-3-1　工事管理項目

基本的には、適用する国土交通省のガイドライン等に準拠する。首都高用に読み替えを行う項目を表 5-7 に示す。

なお、[データ表現]・[文字数]・[記入者]・[必要度]は、国土交通省の規定と同様とする。また、発注者コードは国土交通省 HP(http://www.cals-ed.go.jp/corins/)を参考に記入すること。

(1)　土木・電気通信設備・建築における工事管理項目の読み替え

表 5-7　首都高と国土交通省の工事管理項目比較表(土木・電気通信設備・建築)

カテゴリー		首都高速道路株式会社	(参考) 国土交通省				
		記入内容	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した首都高のマニュアルの版(「土木 202303-01」で固定)を記入する。(分野：土木、西暦年：2023、月：03、版：01) ※　建築は項目がないため記入の必要はない。	電子成果品の作成で適用した国土交通省のガイドライン等の版(「土木 202303-01」で固定)を記入する。　(分野：土木、西暦年：2023、月：03、版：01) ※　建築は項目がないため記入の必要はない。	全角文字 半角英数字	30	▲	◎
工事件名等	工事番号	首都高における「しゅん功図書整理番号」を記入する。 ＜整理番号の例＞ KCOJ041011 ※しゅん功図書整理番号はK･COJ･041011 であるが、「･」を省いて半角英数字(10 桁)で入力する。 ※しゅん功図書整理番号は、採番システムにより発番する。詳細は付属資料 8 によること。	地方整備局単位で設定している CCMS 設計書番号（数字 8 桁～16 桁）を記入する。 [発注者が定める工事番号を記入する。] ＊1	半角 英数字	127	□	◎
場所情報	起点側測点-n	下り車線の中央分離帯側の測点 （自）n+m の n を 4 桁で記入する。	(自)n＋m n を 4 桁で記入する。	半角 数字	4	□	○
	起点側測点-m	下り車線の中央分離帯側の測点 （自）n+m の m を 3 桁で記入する。	(自)n＋m m を 3 桁で記入する。	半角 数字	3	□	○
	終点側測点-n	下り車線の中央分離帯側の測点 （至）n+m の n を 4 桁で記入する。	(至)n＋m n を 4 桁で記入する。	半角 数字	4	□	○

改訂内容
変更

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容
		変更

(2)　機械設備における工事管理項目の読み替え

表 5-8　首都高と国土交通省の工事管理項目比較表(機械設備)

カテゴリー		首都高速道路株式会社	(参考) 国土交通省				
		記入内容	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した首都高のマニュアルの版(「機械 201903-01」で固定)を記入する。(分野：機械、西暦年：2019、月：03、版：01) ※分野は首都高の後に「職種」を付け加える(機械)	電子成果品の作成で適用した国土交通省のガイドライン等の版(「機械 201903-01」で固定)を記入する。(分野：機械、西暦年：2019、月：03、版：01)	全角文字 半角英数字	30	▲	◎
工事件名等	工事番号	首都高における「しゅん功図書整理番号」を記入する。 ＜整理番号の例＞ KCOJ041011 ※しゅん功図書整理番号はK･COJ･041011であるが、「･」を省いて半角英数字(10桁)で入力する。 ※しゅん功図書整理番号は、採番システムにより発番する。詳細は付属資料 8 によること。	地方整備局単位で設定している CCMS 設計書番号を記入する。	半角 英数字	127	□	◎

(2)　機械設備における工事管理項目の読み替え

表 5-8　首都高と国土交通省の工事管理項目比較表(機械設備)

カテゴリー		首都高速道路株式会社	(参考) 国土交通省				
		記入内容	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した首都高のマニュアルの版(「機械 202303-01」で固定)を記入する。(分野：機械、西暦年：2023、月：03、版：01)	電子成果品の作成で適用した国土交通省のガイドライン等の版(「機械 202303-01」で固定)を記入する。　(分野：機械、西暦年：2023、月：03、版：01)	全角文字 半角英数字	30	▲	◎
工事件名等	工事番号	首都高における「しゅん功図書整理番号」を記入する。 ＜整理番号の例＞ KCOJ041011 ※しゅん功図書整理番号はK･COJ･041011であるが、「･」を省いて半角英数字(10桁)で入力する。 ※しゅん功図書整理番号は、採番システムにより発番する。詳細は付属資料 8 によること。	地方整備局単位で設定している CCMS 設計書番号を記入する。	半角 英数字	127	□	◎

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容
		変更

6-10　図面管理ファイル（Excel）

電子納品された図面データは、しゅん功図を図面名称及び位置情報等から検索する際に使用するため、表 5-7 表に示す XML ファイルによる管理項目とは別に、首都高より提供する「図面管理ファイル（Excel）」を納品する。図面管理ファイル(Excel)の記入項目を表 6-4 に記載する。

なお、図面管理ファイル(Excel)は、i-DREAMs からダウンロード（首都高が提供）すること。また、必要な項目を記入後、「入力チェック」ボタンを押し、エラーが出ないか必ず確認すること。

表 6-4　図面管理ファイル（Excel）の記入項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	必要度
共通工事情報	工事件名	しゅん功図書完成当時に命名された工事物件名称	全角文字・半角英数字	250	◎
	主な工事内容	工事内容を記入する	全角文字・半角英数字	250	◎
	業者名称	工事を請け負った業者の名称	全角文字・半角英数字	250	◎
	請負業務	請負業務の工種 ［土木］［建築］［機械］［電気］ より選択	全角文字	2	◎
	新設・補改	上記の「請負業務」の内、 「新設工事」と「補修・改築」を区分	全角文字	5	◎
	しゅん功図書整理番号	首都高より指定されたしゅん功図書整理番号を記入	半角英数字	10	◎
	しゅん功年月日	工事のしゅん功年月日（YYYYMMDD）	半角数字	8	◎
	しゅん功年月日備考	「しゅん功年月日」に関する特記事項があれば記入	全角文字・半角英数字	250	○
図面個別情報	図面番号	″1″より開始される連続番号（重複不可）	半角数字	4	◎
	現路線名称	しゅん功図書として管理する現在の路線名称 ［高速都心環状線］［高速八重洲線］［高速1号上野線］ ［高速 1 号羽田線］［高速 2 号目黒線］［高速 3 号渋谷線］ ［高速 4 号新宿線］［高速 5 号池袋線］［高速埼玉大宮線］ ［高速埼玉新都心線］［その他街路等(東京西地区)］ ［高速 6 号向島線］［高速 6 号三郷線］［高速 7 号小松川線］ ［高速 9 号深川線］［高速 11 号台場線］ ［高速湾岸線(東京地区)］ ［高速中央環状線(東京西地区)］ ［高速中央環状線(東京東地区)］ ［高速埼玉川口線］［その他街路等(東京東地区)］ ［高速神奈川 1 号横羽線］［高速神奈川 2 号三ツ沢線］ ［高速神奈川 3 号狩場線］［高速神奈川 5 号大黒線］ ［高速神奈川 6 号川崎線］［高速晴海線］ ［高速神奈川 7 号横浜北線］［高速神奈川 7 号横浜北西線］ ［高速湾岸線(神奈川地区)］ ［その他街路等(神奈川地区)］［高速全線］ ［高速全線(東京西地区)］［高速全線(東京東地区)］ ［高速全線(神奈川地区)］ 以上のリストより選択	全角文字・半角英数字	50	◎
	旧路線名称	しゅん功図書完成当時に使用されていた路線名称	全角文字・半角英数字	50	○
	媒体番号	電子納品成果品が格納される電子媒体の識別子 「しゅん功図書整理番号(10 桁)-連番(2 桁)」	半角英数字	13	◎

6-10　図面管理ファイル（Excel）

電子納品された図面データは、しゅん功図を図面名称及び位置情報等から検索する際に使用するため、表 5-7 表に示す XML ファイルによる管理項目とは別に、首都高より提供する「図面管理ファイル（Excel）」を納品する。図面管理ファイル(Excel)の記入項目を表 6-4 に記載する。

なお、図面管理ファイル(Excel)は、監督職員から受領するものとする。また、必要な項目を記入後、「入力チェック」ボタンを押し、エラーが出ないか必ず確認すること。

表 6-4　図面管理ファイル（Excel）の記入項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	必要度
共通工事情報	工事件名	しゅん功図書完成当時に命名された工事物件名称	全角文字・半角英数字	250	◎
	主な工事内容	工事内容を記入する	全角文字・半角英数字	250	◎
	業者名称	工事を請け負った業者の名称	全角文字・半角英数字	250	◎
	請負業務	請負業務の工種 ［土木］［建築］［機械］［電気］ より選択	全角文字	2	◎
	新設・補改	上記の「請負業務」の内、 「新設工事」と「補修・改築」を区分	全角文字	5	◎
	しゅん功図書整理番号	首都高より指定されたしゅん功図書整理番号を記入	半角英数字	10	◎
	しゅん功年月日	工事のしゅん功年月日（YYYYMMDD）	半角数字	8	◎
	しゅん功年月日備考	「しゅん功年月日」に関する特記事項があれば記入	全角文字・半角英数字	250	○
図面個別情報	図面番号	″1″より開始される連続番号（重複不可）	半角数字	4	◎
	現路線名称	しゅん功図書として管理する現在の路線名称 ［高速都心環状線］［高速八重洲線］［高速 1 号上野線］ ［高速 1 号羽田線］［高速 2 号目黒線］［高速 3 号渋谷線］ ［高速 4 号新宿線］［高速 5 号池袋線］［高速埼玉大宮線］ ［高速埼玉新都心線］［その他街路等(東京西地区)］ ［高速 6 号向島線］［高速 6 号三郷線］［高速 7 号小松川線］ ［高速 9 号深川線］［高速 11 号台場線］ ［高速湾岸線(東京地区)］ ［高速中央環状線(東京西地区)］ ［高速中央環状線(東京東地区)］ ［高速埼玉川口線］［その他街路等(東京東地区)］ ［高速神奈川 1 号横羽線］［高速神奈川 2 号三ツ沢線］ ［高速神奈川 3 号狩場線］［高速神奈川 5 号大黒線］ ［高速神奈川 6 号川崎線］［高速晴海線］ ［高速神奈川 7 号横浜北線］［高速神奈川 7 号横浜北西線］ ［高速湾岸線(神奈川地区)］ ［その他街路等(神奈川地区)］［高速全線］ ［高速全線(東京西地区)］［高速全線(東京東地区)］ ［高速全線(神奈川地区)］ 以上のリストより選択	全角文字・半角英数字	50	◎
	旧路線名称	しゅん功図書完成当時に使用されていた路線名称	全角文字・半角英数字	50	○
	媒体番号	電子納品成果品が格納される電子媒体の識別子 「しゅん功図書整理番号(10 桁)-連番(2 桁)」	半角英数字	13	◎

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容
付属資料３ 土木工事記録写真撮影要領 １～８（略） ９　デジタル工事写真の小黒板情報電子化に用いる機器等 デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化 (以降、「対象工事」と称する)を行うことができる。対象工事では、以下の 1)から 4)の全てを実施することとする。 1)対象機器の導入 受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以降、「使用機器」と称する)については、黒板で記載すべき情報(工事名・撮影項目・箇所名・受注者名及び説明図(必要に応じて))の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL https://www.cryptrec.go.jp/list.html)に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。 なお、使用機器の事例として、 URL「http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html」記載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。 2)デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入 受注者は、1)の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、黒板で記載すべき情報(工事名・撮影項目・箇所名・受注者名及び説明図(必要に応じて))とする。 ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。 3)小黒板情報の電子的記入の取扱い 本工事の工事写真の取扱いは、本マニュアルに準ずるが、2) に示す小黒板情報の電子的記入については、デジタル写真管理情報基準(平成 20 年 5 月)「6.写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。 4)小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品 受注者は、2)に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。)を工事完成時に電子納品の工事写真として納品する。なお納品時に、受注者は URL(http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム (信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。	付属資料３ 土木工事記録写真撮影要領 １～８（略） ９　デジタル工事写真の小黒板情報電子化に用いる機器等 デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化 (以降、「対象工事」と称する)を行うことができる。対象工事では、以下の 1)から 4)の全てを実施することとする。 1)対象機器の導入 受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以降、「使用機器」と称する)については、黒板で記載すべき情報(工事名・撮影項目・箇所名・受注者名及び説明図(必要に応じて))の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL https://www.cryptrec.go.jp/list.html)に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。 なお、使用機器の事例として、 URL「http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html」記載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。 2)デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入 受注者は、1)の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、黒板で記載すべき情報(工事名・撮影項目・箇所名・受注者名及び説明図(必要に応じて))とする。 ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。 3)小黒板情報の電子的記入の取扱い 本工事の工事写真の取扱いは、本マニュアルに準ずるが、2) に示す小黒板情報の電子的記入については、デジタル写真管理情報基準(平成 20 年 5 月)「6.写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。 4)小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品 受注者は、2)に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。)を工事完成時に電子納品の工事写真として納品する。なお納品時に、受注者は URL(http://www.jcomsia.org/kokuban のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム (信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。	変更

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容

付属資料 8 しゅん功図書整理番号の採番

１～２（略）

３　路線分類（b 1,b 2）

表 3-ｉ　路線分類コード（新規計画段階）〔a 2＝新設〕

路線名	b1,b2	路線名	b1,b2
高速１号線Ⅱ期	1E	高速晴海線	HM
高速２号線Ⅱ期	2E	大宮線（南北）	OM
中央環状線Ｉ期（品川線）	N1	大宮線（東西）（東延伸）	OE
横浜市道磯子線	C3	川崎縦貫線（Ⅱ期）	J2
横浜（中央）環状線	YC	練馬線（旧高速 10 号線）	NE
内環状線	U0	市川線（旧高速 11 号線）	IK
都心新宿線	TS	高速全線	ZZ
第二湾岸線（臨海線）	2W	その他	TR

表 3-ⅱ　路線分類コード（事業実施段階）〔a 2＝新設〕

路線名	b1,b2	路線名	b1,b2
都道首都高速 1 号線	01	都道・県道高速横浜羽田空港線	Y0
都道首都高速 2 号線	02	（1 期）	(Y__)
都道首都高速 3 号線	03	県道高速横浜羽田空港線（2 期）	Y1
都道首都高速 4 号線	04	横浜市道高速 1 号線	C1
都道首都高速 5 号線	05	（三ツ沢線）	
都道首都高速 6 号線	06	横浜市道高速 2 号線	C2
都道首都高速 7 号線	07	（狩場線）	
都道首都高速 8 号線	08	高速湾岸線（1～3 期）	WT
都道首都高速 9 号線	09		(W__)
都道首都高速 12 号線	12	高速湾岸線（川崎地区）	WK
都道首都高速葛飾江戸川線	KE	横浜市道高速湾岸線	WY
都道首都高速葛飾川口線(東京地区)	KT		(B__)
県道首都高速葛飾川口線(埼玉地区)	KS	高速大黒線	D0
都道首都高速足立三郷線(東京地区)	AT		(D__)
県道首都高速足立三郷線(埼玉地区)	AS	高速湾岸線（5 期）	W5
都道首都高速板橋戸田線(東京地区)	IT	高速川崎縦貫線	KJ
県道首都高速板橋戸田線(埼玉地区)	IS	高速横浜環状線	YK
都道首都高速板橋足立線	OJ	都道首都高速晴海線	HM
都道首都高速中央環状品川線	SG	高速全線	ZZ
都道首都高速中央環状新宿線	SJ	その他	TR
高速大宮線（南北線）	OM		
高速大宮線（東西線）	OE		

注）　（　）内は過去に使ったもので、新しく使用してはならない。

付属資料 8 しゅん功図書整理番号の採番

１～２（略）

３　路線分類（b 1,b 2）

表 3-ｉ　路線分類コード（新規計画段階）〔a 2＝新設〕

路線名	b1,b2	路線名	b1,b2
高速１号線Ⅱ期	1E	高速晴海線	HM
高速２号線Ⅱ期	2E	大宮線（南北）	OM
中央環状線Ｉ期（品川線）	N1	大宮線（東西）（東延伸）	OE
横浜市道磯子線	C3	川崎縦貫線（Ⅱ期）	J2
横浜（中央）環状線	YC	練馬線（旧高速 10 号線）	NE
内環状線	U0	市川線（旧高速 11 号線）	IK
都心新宿線	TS	高速全線	ZZ
第二湾岸線（臨海線）	2W	その他	TR

表 3-ⅱ　路線分類コード（事業実施段階）〔a 2＝新設〕

路線名	b1,b2	路線名	b1,b2
都道首都高速 1 号線	01	都道・県道高速横浜羽田空港線	Y0
都道首都高速 2 号線	02	（1 期）	(Y__)
都道首都高速 3 号線	03	県道高速横浜羽田空港線（2 期）	Y1
都道首都高速 4 号線	04	横浜市道高速 1 号線	C1
都道首都高速 5 号線	05	（三ツ沢線）	
都道首都高速 6 号線	06	横浜市道高速 2 号線	C2
都道首都高速 7 号線	07	（狩場線）	
都道首都高速 8 号線	08	高速湾岸線（1～3 期）	WT
都道首都高速 9 号線	09		(W__)
都道首都高速 12 号線	12	高速湾岸線（川崎地区）	WK
都道首都高速葛飾江戸川線	KE	横浜市道高速湾岸線	WY
都道首都高速葛飾川口線(東京地区)	KT		(B__)
県道首都高速葛飾川口線(埼玉地区)	KS	高速大黒線	D0
都道首都高速足立三郷線(東京地区)	AT		(D__)
県道首都高速足立三郷線(埼玉地区)	AS	高速湾岸線（5 期）	W5
都道首都高速板橋戸田線(東京地区)	IT	高速川崎縦貫線	KJ
県道首都高速板橋戸田線(埼玉地区)	IS	高速横浜環状線	YK
都道首都高速板橋足立線	OJ	都道首都高速晴海線	HM
都道首都高速中央環状品川線	SG	高速全線	ZZ
都道首都高速中央環状新宿線	SJ	その他	TR
高速大宮線（南北線）	OM		
高速大宮線（東西線）	OE		
新大宮上尾道路	SA		

注）　（　）内は過去に使ったもので、新しく使用してはならない。

変更

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月	新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月	改訂内容

付属資料 13 「適用要領基準」項目に記入する内容

付表 13-1 適用期間及び「適用要領基準」項目に記入する内容

「土木：適用要領基準」

適用期間	適用ファイル及び記述	工事	CAD（完成図フォルダ）	業務（設計）	CAD（図面フォルダ）
H16.6~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C03.DTD	DRAW03.DTD	INDE_D03.DTD	DRAW03.DTD
	記述適用基準	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01
H17.10~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C03.DTD	DRAW03.DTD	INDE_D03.DTD	DRAW03.DTD
	記述適用基準	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01
H18.8~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C03.DTD	DRAW03.DTD	INDE_D03.DTD	DRAW03.DTD
	記述適用基準	首都高土木 200608-01	首都高土木 200608-01	首都高土木 200608-01	首都高土木 200608-01
H21.4~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C04.DTD	DRAW04.DTD	INDE_D04.DTD	DRAW04.DTD
	記述適用基準	首都高土木 200908-01	首都高土木 200908-01	首都高土木 200908-01	首都高土木 200908-01
2020.11~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C06.DTD	DRAW04.DTD	INDE_D05.DTD	DRAW04.DTD
	記述適用基準	土木 201903-01	土木 201703-01	土木 201903-01	土木 201703-01

適用期間	適用ファイル及び記述	デジタル写真	測量	地質
H16.6~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01
H17.10~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01
H18.8~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高土木 200608-01	首都高土木 200608-01	首都高土木 200608-01
H21.4~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT005.DTD	SURVEY03.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高土木 200904-01	首都高土木 200904-01	首都高土木 200904-01
2020.11~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT005.DTD	SURVEY03.DTD	BRG0200.DTD
	記述適用基準	土木 201603-01	土木 201803-01	土木 201610-01

※デジタル写真の「PHOTO04.DTD」は適用外。

付属資料 13 「適用要領基準」項目に記入する内容

付表 13-1 適用期間及び「適用要領基準」項目に記入する内容

「土木：適用要領基準」

適用期間	適用ファイル及び記述	工事	CAD（完成図フォルダ）	業務（設計）	CAD（図面フォルダ）
H16.6~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C03.DTD	DRAW03.DTD	INDE_D03.DTD	DRAW03.DTD
	記述適用基準	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01
H17.10~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C03.DTD	DRAW03.DTD	INDE_D03.DTD	DRAW03.DTD
	記述適用基準	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01
H18.8~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C03.DTD	DRAW03.DTD	INDE_D03.DTD	DRAW03.DTD
	記述適用基準	首都高土木 200608-01	首都高土木 200608-01	首都高土木 200608-01	首都高土木 200608-01
H21.4~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C04.DTD	DRAW04.DTD	INDE_D04.DTD	DRAW04.DTD
	記述適用基準	首都高土木 200908-01	首都高土木 200908-01	首都高土木 200908-01	首都高土木 200908-01
2020.11~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C06.DTD	DRAW04.DTD	INDE_D05.DTD	DRAW04.DTD
	記述適用基準	土木 201903-01	土木 201703-01	土木 201903-01	土木 201703-01
2026.5~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C09.DTD	DRAW04.DTD	INDE_D08.DTD	DRAW04.DTD
	記述適用基準	土木 202303-01	土木 201703-01	土木 202403-01	土木 201703-01

適用期間	適用ファイル及び記述	デジタル写真	測量	地質
H16.6~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01
H17.10~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	土木 200406-01	土木 200406-01	土木 200406-01
H18.8~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高土木 200608-01	首都高土木 200608-01	首都高土木 200608-01
H21.4~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT005.DTD	SURVEY03.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高土木 200904-01	首都高土木 200904-01	首都高土木 200904-01
2020.11~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT005.DTD	SURVEY03.DTD	BRG0200.DTD
	記述適用基準	土木 201603-01	土木 201803-01	土木 201610-01
2026.5~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT005.DTD	SURVEY04.DTD	BRG0200.DTD
	記述適用基準	土木 202303-01	土木 202303-01	土木 201610-01

※デジタル写真の「PHOTO04.DTD」は適用外。

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月

「電気：適用要領基準」

適用期間	適用ファイル及び記述	工事	CAD（完成図フォルダ）	業務（設計）	CAD（図面フォルダ）
H16.6~	XML	INDEX_EC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_ED.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_EC03.DTD	DRAW_E03.DTD	IND_ED03.DTD	DRAW_E03.DTD
	記述適用基準	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01
H17.10~	XML	INDEX_EC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_ED.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_EC03.DTD	DRAW_E03.DTD	IND_ED03.DTD	DRAW_E03.DTD
	記述適用基準	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01
H18.8~	XML	INDEX_EC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_ED.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_EC03.DTD	DRAW_E03.DTD	IND_ED03.DTD	DRAW_E03.DTD
	記述適用基準	首都高電気 200608-01	首都高電気 200608-01	首都高電気 200608-01	首都高電気 200608-01
H21.4~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C04.DTD	DRAW04.DTD	INDE_D04.DTD	DRAW04.DTD
	記述適用基準	首都高電気 200904-01	首都高電気 200904-01	首都高電気 200904-01	首都高電気 200904-01
2020.11~	XML	INDEX_EC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_ED.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_EC05.DTD	DRAW04.DTD	IND_ED04.DTD	DRAW04.DTD
	記述適用基準	電通 201903-01	電通 201703-01	電通 201903-01	電通 201703-01

適用期間	適用ファイル及び記述	デジタル写真	測量	地質
H16.6~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01
H17.10~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01
H18.8~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高電気 200608-01	首都高電気 200608-01	首都高電気 200608-01
H21.4~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高電気 200904-01	首都高電気 200904-01	首都高電気 200904-01
2020.11~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT005.DTD	SURVEY03.DTD	BRG0200.DTD
	記述適用基準	電通 201603-01	電通 201803-01	電通 201610-01

※デジタル写真の「PHOT004.DTD」は適用外。

新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月

「電気：適用要領基準」

適用期間	適用ファイル及び記述	工事	CAD（完成図フォルダ）	業務（設計）	CAD（図面フォルダ）
H16.6~	XML	INDEX_EC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_ED.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_EC03.DTD	DRAW_E03.DTD	IND_ED03.DTD	DRAW_E03.DTD
	記述適用基準	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01
H17.10~	XML	INDEX_EC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_ED.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_EC03.DTD	DRAW_E03.DTD	IND_ED03.DTD	DRAW_E03.DTD
	記述適用基準	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01
H18.8~	XML	INDEX_EC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_ED.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_EC03.DTD	DRAW_E03.DTD	IND_ED03.DTD	DRAW_E03.DTD
	記述適用基準	首都高電気 200608-01	首都高電気 200608-01	首都高電気 200608-01	首都高電気 200608-01
H21.4~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	INDE_C04.DTD	DRAW04.DTD	INDE_D04.DTD	DRAW04.DTD
	記述適用基準	首都高電気 200904-01	首都高電気 200904-01	首都高電気 200904-01	首都高電気 200904-01
2020.11~	XML	INDEX_EC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_ED.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_EC05.DTD	DRAW04.DTD	IND_ED04.DTD	DRAW04.DTD
	記述適用基準	電通 201903-01	電通 201703-01	電通 201903-01	電通 201703-01
2026.5~	XML	INDEX_EC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_ED.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_EC07.DTD	DRAW04.DTD	IND_ED05.DTD	DRAW04.DTD
	記述適用基準	電通 202303-01	電通 201703-01	電通 202403-01	電通 201703-01

適用期間	適用ファイル及び記述	デジタル写真	測量	地質
H16.6~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01
H17.10~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	電通 200406-01	電通 200406-01	電通 200406-01
H18.8~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高電気 200608-01	首都高電気 200608-01	首都高電気 200608-01
H21.4~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高電気 200904-01	首都高電気 200904-01	首都高電気 200904-01
2020.11~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT005.DTD	SURVEY03.DTD	BRG0200.DTD
	記述適用基準	電通 201603-01	電通 201803-01	電通 201610-01
2026.5~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT005.DTD	SURVEY04.DTD	BRG0200.DTD
	記述適用基準	電通 202303-01	電通 202303-01	電通 201610-01

※デジタル写真の「PHOT004.DTD」は適用外。

改訂内容

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月

「機械：適用要領基準」

適用期間	適用ファイル及び記述	工事	CAD（施工図フォルダ）	業務（設計）	CAD（図面フォルダ）
H16.6~	XML	INDEX_C.XML	D_DRAWF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_MC01.DTD	DRW_M01.DTD	IND_MD01.DTD	DRW_M01.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし	なし
H17.10~	XML	INDEX_C.XML	D_DRAWF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_MC01.DTD	DRW_M01.DTD	IND_MD01.DTD	DRW_M01.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし	なし
H18.8~	XML	INDEX_MC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_MD.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_MC02.DTD	DRAW_M02.DTD	IND_MD02.DTD	DRAW_M02.DTD
	記述適用基準	首都高機械 200608-01	首都高機械 200608-01	首都高機械 200608-01	首都高機械 200608-01
H21.4~	XML	INDEX_MC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_MD.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_MC02.DTD	DRAW_M02.DTD	IND_MD02.DTD	DRAW_M02.DTD
	記述適用基準	首都高機械 200904-01	首都高機械 200904-01	首都高機械 200904-01	首都高機械 200904-01
2020.11~	XML	INDEX_MC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_MD.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_MC03.DTD	DRAW_M03.DTD	IND_MD03.DTD	DRAW_M03.DTD
	記述適用基準	機械 201903-01	機械 201703-01	機械 201903-01	機械 201703-01

適用期間	適用ファイル及び記述	デジタル写真	測量	地質
H16.6~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし
H17.10~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし
H18.8~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高機械 200608-01	首都高機械 200608-01	首都高機械 200608-01
H21.4~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高機械 200904-01	首都高機械 200904-01	首都高機械 200904-01
2020.11~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT005.DTD	SURVEY03.DTD	BRG0200.DTD
	記述適用基準	機械 201603-01	機械 201803-01	機械 201610-01

※デジタル写真の「PHOT004.DTD」は適用外。

「建築：適用要領基準」

適用期間	適用ファイル及び記述	営繕	CAD（完成図フォルダ）	建築業務	CAD（図面フォルダ）
H16.6~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	IDXC_B01.DTD	DRAW_B01.DTD	INXD_B01.DTD	DRAW_B01.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし	なし
H21.4~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	IDXC_B01.DTD	DRAW_B01.DTD	INXD_B01.DTD	DRAW_B01.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし	なし
2020.11~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	IDXC_B04.DTD	DRAW_B04.DTD	IDXD_B04.DTD	DRAW_B04.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし	なし

新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月

「機械：適用要領基準」

適用期間	適用ファイル及び記述	工事	CAD（施工図フォルダ）	業務（設計）	CAD（図面フォルダ）
H16.6~	XML	INDEX_C.XML	D_DRAWF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_MC01.DTD	DRW_M01.DTD	IND_MD01.DTD	DRW_M01.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし	なし
H17.10~	XML	INDEX_C.XML	D_DRAWF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_MC01.DTD	DRW_M01.DTD	IND_MD01.DTD	DRW_M01.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし	なし
H18.8~	XML	INDEX_MC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_MD.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_MC02.DTD	DRAW_M02.DTD	IND_MD02.DTD	DRAW_M02.DTD
	記述適用基準	首都高機械 200608-01	首都高機械 200608-01	首都高機械 200608-01	首都高機械 200608-01
H21.4~	XML	INDEX_MC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_MD.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_MC02.DTD	DRAW_M02.DTD	IND_MD02.DTD	DRAW_M02.DTD
	記述適用基準	首都高機械 200904-01	首都高機械 200904-01	首都高機械 200904-01	首都高機械 200904-01
2020.11~	XML	INDEX_MC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_MD.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_MC03.DTD	DRAW_M03.DTD	IND_MD03.DTD	DRAW_M03.DTD
	記述適用基準	機械 201903-01	機械 201703-01	機械 201903-01	機械 201703-01
2026.5~	XML	INDEX_MC.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_MD.XML	DRAWING.XML
	DTD	IND_MC05.DTD	DRAW_M03.DTD	IND_MD04.DTD	DRAW_M03.DTD
	記述適用基準	機械 202303-01	機械 201703-01	機械 202403-01	機械 201703-01

適用期間	適用ファイル及び記述	デジタル写真	測量	地質
H16.6~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし
H17.10~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし
H18.8~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高機械 200608-01	首都高機械 200608-01	首都高機械 200608-01
H21.4~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT003.DTD	SURVEY02.DTD	BRG0150.DTD
	記述適用基準	首都高機械 200904-01	首都高機械 200904-01	首都高機械 200904-01
2020.11~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT005.DTD	SURVEY03.DTD	BRG0200.DTD
	記述適用基準	機械 201603-01	機械 201803-01	機械 201610-01
2026.5~	XML	PHOTO.XML	SURVEY.XML	BORING.XML
	DTD	PHOT005.DTD	SURVEY04.DTD	BRG0200.DTD
	記述適用基準	機械 202303-01	機械 202303-01	機械 201610-01

※デジタル写真の「PHOT004.DTD」は適用外。

「建築：適用要領基準」

適用期間	適用ファイル及び記述	営繕	CAD（完成図フォルダ）	建築業務	CAD（図面フォルダ）
H16.6~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	IDXC_B01.DTD	DRAW_B01.DTD	INXD_B01.DTD	DRAW_B01.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし	なし
H21.4~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	IDXC_B01.DTD	DRAW_B01.DTD	INXD_B01.DTD	DRAW_B01.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし	なし
2020.11~	XML	INDEX_C.XML	DRAWINGF.XML	INDEX_D.XML	DRAWING.XML
	DTD	IDXC_B04.DTD	DRAW_B04.DTD	IDXD_B04.DTD	DRAW_B04.DTD
	記述適用基準	なし	なし	なし	なし

改訂内容

変更

旧：電子納品等運用マニュアル 2025 年 4 月

付属資料 14　一部しゅん功におけるしゅん功図書等の取扱い

１～５（略）

【表-２】工事における電子納品対象書類一覧（一部しゅん功時）

書類リスト	一部しゅん功時		
	ファイル形式等	提出部数	格納フォルダ等
しゅん功図*1*2*3	SXF（P21 または SFC）または TIFF	1	格納フォルダの名称は、書類リストにある書類名とする。
	オリジナル（DWG、JWW 等）		
	PDF *4		
品質管理データ	PDF	1	
工事打合せ簿*5	PDF	1	
施工計画書 作業計画書	PDF	1	
設計概要書 設計計算書 計算書等照査報告書・確認書	オリジナル*6*7,PDF	1	
	A4 紙	1	
数量計算書	オリジナル*6,PDF	1	
	A4 紙	1	
管理カード*8	—	—	
図面管理ファイル（Excel）*9	—	—	
技術管理データ	オリジナル*6	1	
契約関係書類	PDF	1	
工事写真	JPEG	1	
i-Construction データ	（別で定めるガイドライン等による）	1	
BIM/CIM データ		1	

【 解説 】
*1）しゅん功図書、またはその被写資料のうち図面をいう（2-1 しゅん功図書の定義 参照）
*2）出来形図表は、しゅん功図に入れる
*3）残置する仮設物及び地下埋設物等は、参考図としてしゅん功図に入れる
*4）サイズ：A3、解像度(スキャナで読み込む場合)：300dpi
*5）詳細設計付き工事の場合の設計打合せ簿も含む
*6）オリジナルデータの納品が困難な場合、PDF でも可能
*7）電算アウトプットを除く
*8）管理カードの作成は、保全情報管理システム管理カード作成要領による
*9）iDREAMs からダウンロード
*10）成果品の合冊や分割等の必要がある場合は、主任監督員の指示によること
※成果品内のフォルダ名やファイル名、各種管理ファイル(.XML)内には「¥ / : , ; * ? ” < > | 」を使用しないこと
（例.　×「BIM / CIM」→ ○「BIMCIM」）

新：電子納品等運用マニュアル 2026 年 5 月

付属資料 14　一部しゅん功におけるしゅん功図書等の取扱い

１～５（略）

【表-２】工事における電子納品対象書類一覧（一部しゅん功時）

書類リスト	一部しゅん功時		
	ファイル形式等	提出部数	格納フォルダ等
しゅん功図*1*2*3	SXF（P21 または SFC）または TIFF	1	格納フォルダの名称は、書類リストにある書類名とする。
	オリジナル（DWG、JWW 等）		
	PDF *4		
品質管理データ	PDF	1	
工事打合せ簿*5	PDF	1	
施工計画書 作業計画書	PDF	1	
設計概要書 設計計算書 計算書等照査報告書・確認書	オリジナル*6*7,PDF	1	
	A4 紙	1	
数量計算書	オリジナル*6,PDF	1	
	A4 紙	1	
管理カード*8	—	—	
図面管理ファイル（Excel）*9	—	—	
技術管理データ	オリジナル*6	1	
契約関係書類	PDF	1	
工事写真	JPEG	1	
i-Construction データ	（別で定めるガイドライン等による）	1	
BIM/CIM データ		1	

【 解説 】
*1）しゅん功図書、またはその被写資料のうち図面をいう（2-1 しゅん功図書の定義 参照）
*2）出来形図表は、しゅん功図に入れる
*3）残置する仮設物及び地下埋設物等は、参考図としてしゅん功図に入れる
*4）サイズ：A3、解像度(スキャナで読み込む場合)：300dpi
*5）詳細設計付き工事の場合の設計打合せ簿も含む
*6）オリジナルデータの納品が困難な場合、PDF でも可能
*7）電算アウトプットを除く
*8）管理カードの作成は、保全情報管理システム管理カード作成仕様書による
*9）監督職員から受領すること
*10）成果品の合冊や分割等の必要がある場合は、主任監督員の指示によること
※成果品内のフォルダ名やファイル名、各種管理ファイル(.XML)内には「¥ / : , ; * ? ” < > | 」を使用しないこと
（例.　×「BIM / CIM」→ ○「BIMCIM」）

改訂内容
変更